

第39回大阪府作業療法学会プログラム

学会内事例検討会

発表者募集

この領域で有名な“あの先生”ならどうするんだろう...
そんな、聞いてみたいを叶える企画を考えました



竹林 崇 先生
(身障領域)



田中 寛之 先生
(高齢者領域)



仲間 知穂 先生
(児童発達領域)



稲富 宏之 先生
(精神領域)

こんな人におすすめです

- ・ 臨床10年目未満のまだまだ経験の少ない方
- ・ その領域に来て間もない方
- ・ “あの先生”に助言や解説を受けてみたいという方
- ・ 自身の実践について様々な作業療法士の考えを聞いてみたい方



竹林 崇 先生
(身体領域)

大阪公立大学医学部
リハビリテーション学科教授
脳卒中後の上肢機能アプローチに
おける先駆者であり、若手育成にも
注力するエキスパート



田中 寛之 先生
(高齢領域)

大阪公立大学医学部
リハビリテーション学科准教授
認知症分野で臨床家であり研究者で
ある。物腰がやわらかく、温かみの
ある指導に定評がある



仲間 知穂 先生
(児童発達領域)

YUIMAWARU株式会社 代表
子どもの個性を尊重し「届けたい教
育」の実現に向け活動を続けている。
子どもたちやその家族に寄り添う姿が
多くの共感を呼んでいる



稲富 宏之 先生
(精神領域)

京都大学医学部人間健康科学科 教授
医療から就労支援まで幅広く対応され
る。精神機能評価UBOM開発者の1人。
忙しくても時間を割いて熱心に相談に
のる姿勢から学生の人気も高い

内容

- ・事例発表者より、事例プロセスの中でいくつか問題提起（ex皆さんならどうしますか？）を行います
- ・参加者の中で複数人のグループを作り、「私ならどうする」という問題解決に向けたアクションを参加者同士で探ります
- ・発表者の実際に取った方法を聞いた後、あの先生よりスーパーバイズ（助言や解説）をもらいます

発表者の方へのお約束

- ・“あの先生”や参加者からも批判や誹謗中傷をされたりすることはありません
- ・ポジティブに導いてくれます
- ・人前に出るので、ちょっとだけ勇気が必要です。それを良かったと思えるほどの見返りがあるはずです
- ・発表の前に先生と打ち合わせを行う事もできますので、いきなり本番（汗）ということはありません

発表エントリーに関するお願い

- ・発表に際し、対象者へ同意を得た方法、その他、倫理審査を受けた場合はその旨を記載ください。
- ・府学会参加費をお支払いください
- ・大阪府士会員の方に限らせて頂きます
- ・応募者多数の場合は、厳正なる審査の上選考とさせていただきます。
- ・もし今回ご縁が無かった場合でも、ぜひ口述発表へのエントリーをお願いいたします。

エントリー

エントリーは下記フォームよりお願いします。

<https://forms.gle/pWuZGGFDZ9sZgMn88>

締切：6月13日23:59まで

問い合わせ osakaot39@gmail.com （担当：金川）

